

2023 年度事業報告

1. 刑事司法制度に関する調査及び研究、研究会、講演会、シンポジウムの開催、セミナー、研修等の実施並びに出版その他の情報提供

(1) 刑事司法制度改正に関する調査・研究・情報発信（HRW と連携）

2023 年 6 月より公益財団法人ヒューマン・ライツ・ウォッチと進めている「刑事司法に関する共同キャンペーンを開始する。

① 共同キャンペーンのオープニングとして「人質司法」を考えるシンポジウムを実施する。

「人質司法」の問題点解説、「人質司法」体験についてのトークディスカッション、「国際社会からみた日本の刑事司法とビジネス」について、共同キャンペーン開催宣言等

② 「世界えん罪の日」記者会見

10 月 2 日の世界えん罪の日に、共同記者会見を行う。

③ 「人質司法サバイバー国会」

11 月頃、国会にて人質司法プロジェクトからの問題提起と提案を提起する。

④ 司法制度改正に向けた提案活動

「人質司法」問題について、海外比較などを含めつつ調査・研究を行うとともに、議員へのロビイング活動を行い、立法・行政への働きかけやメディアや市民への情報発信を行う。

(2) IPJ 支援事件に関する事件内容の検討と情報共有

(1) 11 月 19 日（日）、IPJ 全体会として支援事件についての多面的な検討と情報共有を行う。

(2) 各えん罪事件支援集会への参画を実施する。

関西市民集会 たんぽぽの会、大阪人権フェスタ参画、アジアソサエティ人質司法イベント等

(3) 神戸質店事件シンポジウムを実施する。

2. 科学的見地から支援可能な冤罪事件についての調査、相談及び支援

(1) 既支援決定事件についての活動

① 25 海遊館事件

支援体制の検討

② 304 神戸質店事件

・ご本人への接見、目撃者実証実験、支援シンポジウム等

③ 434 今西事件

・控訴審期日に裁判傍聴と支援集会を実施

④ 459 クリス事件

・第1審にむけた支援活動

(2) 新規相談事件の審査活動

① 関東1班、関西5班体制で、支援可能事件を審査

3. その他の事業活動

(1) 海外のイノセンス団体との連携

① イノセンス・ネットワーク (IN)

・2023年4月14～15日、アリゾナ（アメリカ）大会への派遣

・2024年3月にニューオリンズ（アメリカ）大会への派遣

・2024年3月にジュネーブ（スイス）開催のヨーロッパ大会に派遣

② 台湾イノセンス・プロジェクトと日常的な情報交換を行う。